

主日礼拝

2021年07月11日
午前10時30分前奏 「さまよう人々、たちかえりて」
(J.ラングレ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

主の神殿の門に立ち、この言葉をもって呼びかけよ。

そして、言え。

「主を礼拝するために、神殿の門を歩いて行くユダの

人々よ、皆、主の言葉を聞け。イスラエルの神、万軍

の主はこう言われる。お前たちの道と行いを正せ。

そうすれば、わたしはお前たちをこの所に住ませる。

主の神殿、主の神殿、主の神殿という、むなしい言葉に

依り頼んではならない。この所で、お前たちの道と行

いを正し、お互いの間に正義を行い、寄留の外国人、

孤児、寡婦を虐げず、無実の人の血を流さず、異教の

神々に従うことなく、自ら災いを招いてはならない。

そうすれば、わたしはお前たちを先祖に与えたこの地、

この所に、とこしえからとこしえまで住ませる。

(IIマ書7:2~7)

リタニー「わたしたちの救い主」(教師の友7月)

司式者：病気で苦しんでいる人を

会衆：イエスさまはそっと癒やします

司式者：罪にがんじがらめの人を

会衆：イエスさまはぎゅっと抱きしめます

司式者：おなかがすいた人を

会衆：そのまま放っておかれません

司式者：飼い主のいない羊の姿を

痛むほどに憐れみ、愛してくださるのは

一同：イエス・キリスト、わたしたちの救い主

アーメン

祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、
礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、

悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。

アーメン。

聖書 マタイによる福音書 7: 15~29

新約(新共同訳) P12

「偽預言者を警戒しなさい。彼らは羊の皮を身にま
とってあなたがたのところに来るが、その内側は貪
欲な狼である。あなたがたは、その実で彼らを見分
ける。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れ
るだろうか。すべて良い木は良い実を結び、悪い木
は悪い実を結ぶ。良い木が悪い実を結ぶことはなく、
また、悪い木が良い実を結ぶこともできない。良い
実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込ま
れる。このように、あなたがたはその実で彼らを見
分ける。」

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、
天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心
を行う者だけが入るのである。かの日には、大勢の
者がわたしに、『主よ、主よ、わたしたちは御名に
よって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名
によって奇跡をいろいろ行ったではありませんか』
と言うであろう。そのとき、わたしはきっぱりとこ
う言おう。『あなたたちのことは全然知らない。不
法を働く者ども、わたしから離れ去れ。』」

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は
皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。
雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲って
も、倒れなかった。岩を土台としていたからである。
わたしのこれらの言葉を聞くだけで行わない者は
皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。雨が
降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかか
ると、倒れて、その倒れ方がひどかった。」

イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆は
その教えに非常に驚いた。彼らの律法学者のよう
にはなく、権威ある者としてお教えになったから
である。

賛美 542(1,3,4)「主が受け入れてくださるから」

Help us accept each other
詞：Fred Kaan, 1929-

BARONITA
曲：Doreen Potter, 1925-1980

1 主がうけいれてくださるから
3 うけいれられてあらたにされる。▶
4 きょうもであいがもとめられる。▶

われらたがいにうけいれあおう。
せいかつの場におくりだされ、
▶ わけあうみちがもとめられる。▶

ともにおられる主を信じよう、
▶ 和解のしよくたくともにかこみ
せいれいをうけあらたにされ ▶

主にあいされたひとりとして。
かわすえみこそいやしのわざ。
▶ われらたがいにひとつになろう。

説教 「生活の土台」

賛美 448(1,3,4)「お招きに応えました」

Lord, we have come at your own invitation
詞：Fred Pratt Green, 1903-

O QUANTA QUALIA
曲：Antiphoner, 1681

1 おまねきにごたえました、
3 主のもとにつどうたびに ▶
4 世に生きるそのげんばで ▶

ともとよんでく - さる主よ。
「イエスを主」とこく - はくする
▶ みぎひだりきめ - るとき ▶

あなたこそちからのかみ
そのいみをさらにふかく
▶ みころにかなうみちを ▶

ささげま - す、わがすべてを。
▶ まなばせ - てください、主よ。
えらばせ - てください、主よ。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「心よ、めざめよ」 (M.レーガー)

司式 要田 悟史
説教 向井 希夫牧師
奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。